



声と言葉で世界を創る!

# ひとり芝居あかつき

お芝居とは、劇場へ行って、大きな舞台美術が無くてはならない特別なもの・・・  
その概念を超える。  
世界の隅々まで生の芝居を!

# ひとり芝居あかつき とは

小さなスペースから大劇場まで通じる  
ひとり芝居を—

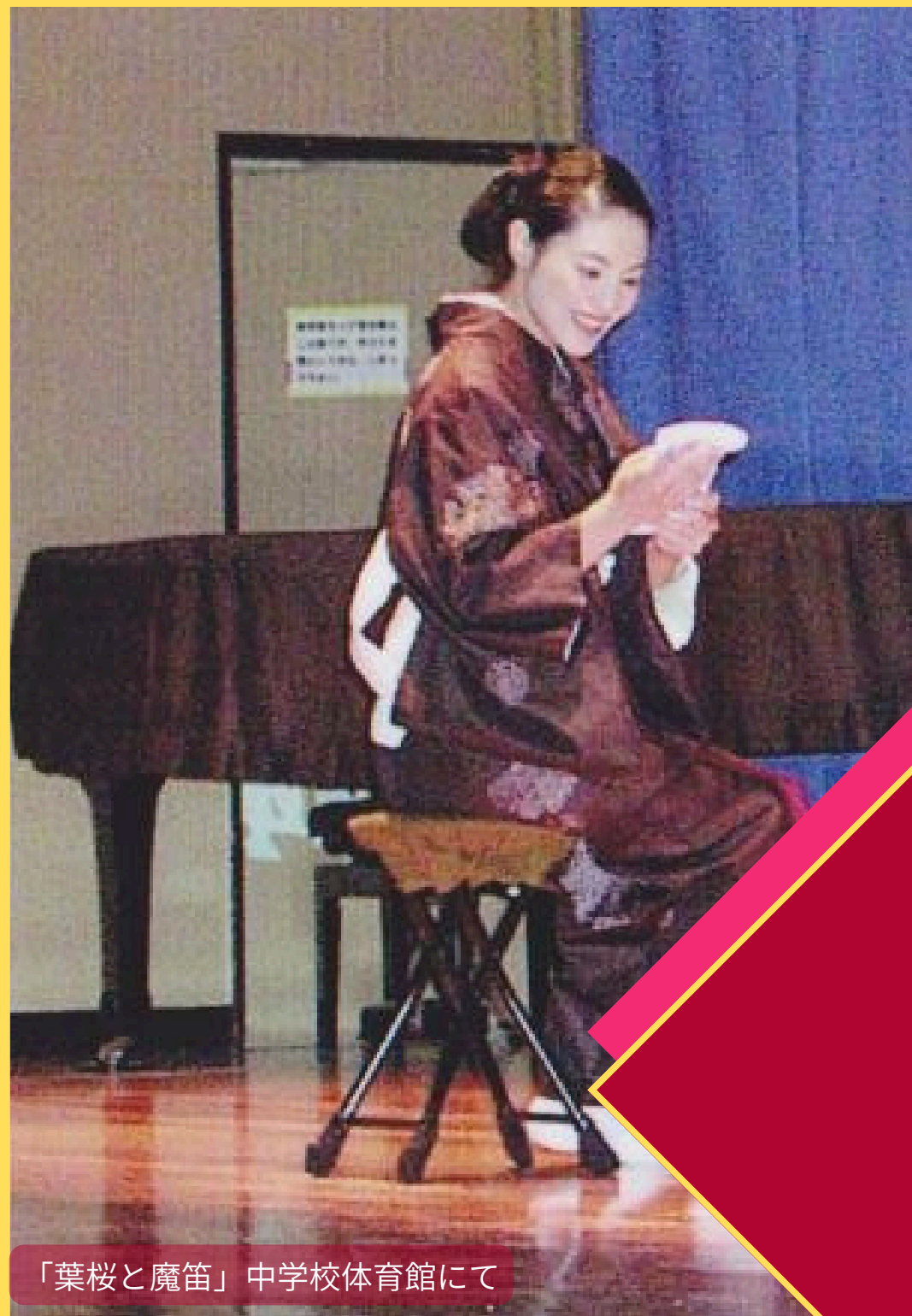
⊕ もし、世界の隅々まで生の舞台を届けようとしたら？  
大きく重い大道具や荷物を持ち歩いている場合ではない！  
シンプルな舞台、そして役者のセリフでその場を劇場化  
していこう！

シェイクスピアの時代、何もない空間で演じられてきた  
演出法は日本の能や歌舞伎と共通点がある。

また、落語や講談といった日本の伝統文化もまた同様。  
その演出法はどんな場所でも劇場する力を持っている。  
言葉・セリフの力を使い、世界に生の芝居を届ける活動  
を行っています。



音楽のように物語を語り、  
心地よい日本語／心地よい語りで  
会場全体と皆様の心を浄化していく。  
ワタシは身体と声で空間浄化機となろう！  
——ひとり芝居あかつき



「葉桜と魔笛」 中学校体育館にて

## 役者/あかつき



2000年より劇団シェイクスピア・シアターに入団。  
演出家 出口典雄のもと明晰なセリフ術と素舞台演出法を学ぶ。

2009年退団後、一人芝居家として活動。

『電話をする女』、『葉桜と魔笛』（太宰治）  
シェイクスピアちょいかじり場面抜粋『バルコニー』が好評。

2021年3月に被爆証言を原案とした『はあちゃんへの手紙』を発表。  
同年12月より2023年にかけて草加市内全中学校11校を巡業公演を果たす。

また、身体を使った発声・朗読法の朗読教室を展開。  
特に70代以降の方に人気があり、演劇未経験の方にも開かれた内容が好評。

役者活動は「あかつき」、講師としては「赤月暁光」として活動中。

# 作品介绍

『電話をする女』  
(シェイクスピア・リハーサル4場)



作/出口典雄

「役者は演技するだけでは足りません。  
稽古するだけでは間に合いません。」  
営業電話をしながら、稽古場へ! ?  
師匠演出家出口典雄のオリジナル作品。  
劇団の楽屋話を落語風にお届け!

『葉桜と魔笛』



作/太宰治

重い病で余命数ヶ月となる妹。  
ある日、姉（わたくし）は  
ダンスの中から緑のリボンで  
束ねられたたくさんの手紙を  
見つける。その相手は？  
そして、わたくしは・・・。  
妹を姉の不思議な愛の物語。

『シェイクスピアちょいかじり』  
シリーズ  
(ロミオとジュリエット/リア王/夏の夜の夢/etc)



作/ウィリアム・シェイクスピア  
訳/小田島雄志

知っているようで知らない  
シェイクスピアの名場面を  
抜粋してお届け!  
シェイクスピアの解説付きで  
楽しくシェイクスピア入門!

ひとり芝居あかつき

住所  
〒340-0034 埼玉県草加市氷川町713-2

Mail  
akatsuki.butaisozo@gmail.com

TEL  
080-7143-7830/あかつき

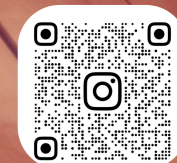
HP



<https://butaisozoakatsuki.com/>



@Akatsuki\_ACT



@Akatsuki\_act



演劇部向け  
ワークショップ